

第14回定例会 アンケート【集計結果】 17名/34名 2016年6月29日

『帰宅困難者対策を考える』～大規模災害に備えて、事業所は従業員と利用者の安全をどのように確保できるか～

1. ご参加の回数を教えてください。

参加回数
1回(5名) ・ 2回(2名) ・ 3回(0名) ・ 4回(3名) ・ 5回以上(7名)

2. ご参加されようと思われたきっかけを教えてください（これまでの防災減災への取り組みなど）。

<ul style="list-style-type: none">・企業として、個人としての防災意識の向上、情報収集（2）・隊員（山本化学工業、ダッシュ隊大阪、湯井）、知人からご案内頂き興味もあった（5）・業務、プライベートでの活用と勉強・大阪で探していた。防災、減災の情報は必要なことがありすぎ、一人では限界になると思った、取組みはこれから・循環型備蓄というサービスを展開、帰宅困難者対策を検討する企業も増え、現状認識を深めサービス強化につなげる・当社の耐震補強工法が何かの役に立てるのではないかと考えた・阪神大震災よりNPOで活動、現在は兵庫県防災士会の理事、兵庫県以外の集まりに参加したかった・湯井の防災セミナーで日々の訓練、情報収集が必要と痛感・テーマに興味があった（2）・防災関連の勉強と販促・防災知識と人とのネットワーク作り・関西地区での帰宅困難者対応が東京に比べて未着手のため

3. 本日のプログラム内容についてご意見、ご感想をお聞かせください。

ご意見、ご感想など
<ul style="list-style-type: none">・とても参考になった、中小企業でスムーズに導入するための打ち手など知りたい・迫力ある動画が分かりやすく良かった・参考になる情報ばかりだった、今後も大阪の具体的な対策情報があれば知りたい・詳しい説明で勉強になった（3）・行政、企業で意識の差がありすぎ、共助の心が足りない現状がよく分かった・様々な説明、映像もありイメージしやすかった、友人にも説明しやすかった・主要駅の帰宅困難者数など具体的な数値が見られて大変参考になった・周囲とのコミュニケーション、顔見知りになっておくかが重要、自主防災がとても大切だと思った・大阪の土地のこともよくわかり、勉強になった・利用者、地域を含めた対策の必要性を改めて実感、「4つの指針」は分かりやすく考え方を広めていく必要を感じた・非常に参考になった、学んだ知識をどのように第三者に伝えていくか考えなければ！・今後自社に帰って、皆に話をしたい・ビル、マンションの備蓄事例に興味あり、災害拠点病院やその他の事例も知りたい・東京都は企業への補助金を出して帰宅困難者用備蓄を準備、大阪府、大阪市、神戸市など民間に任せるだけ、関西在住の方は自助、共助しかない

4. 関西そなえ隊の定例会でプレゼンテーションをご希望される方は、テーマ・内容などを簡単にご記入ください
(2016年8月以降)。改めて事務局よりご連絡させていただきます。質問などもお気軽にお尋ねください。

- 過去3回の大地震時もほとんど備蓄されていなかったもので、こんな商品もあると知ってもらいたい。段ボール製障害者用トイレ、ベッド、パーテーションなど30分程度プレゼンしたい(㈱タカオカ 笠井さま)
- 熊本地震、支援などネットワークについて(日本防災士会 松田恵子さま)
- 業者による防災用品のプレゼンテーションの希望(㈱カメダデンキ 柿花さま)

5. メーリングリストの配信： 希望する(14名) 希望しない(0名) 既に登録(2名) 無回答(1名)

以上